

2023 年度

イオンゆめみらい保育園 新小松 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2024 年 1 月 19 日（金）～2 月 20 日（火）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024年2月29日（木）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「日々のいのちとくらしを、夢のある未来に変えていく」というイオン宣言（当時）の実現に向け、「子どもたちが夢を持ち続けられる保育を提供すると共に、働く人々の『Work』『Life』両立、そして家族の Happy&Healthy を支援します。」の保育理念に則り、子ども達の成長はもちろん、保護者様の仕事と生活、幸せと健康のお手伝いができるよう「子育て支援」に努めた。
子どもの発達援助	職員会議にて発達の状況を話し合い、子ども達一人ひとりの姿を職員間で共有、その時々で最善の保育が提供できるように考えて対応した。 保育環境が子ども達の姿や発達に直結するため、今後も計画に基づいた臨機応変な保育を行っていきたい。
保護者に対する支援	今年度初めて親子遠足を実施した。友達との関わりや成長ぶりなど日頃の様子をお伝えしたり、保護者の方からの質問やご意見をいただいたり、また親子ふれあいの時間や保護者間の交流の時間を提供できよかった。毎日の送迎時にもその日の子どもの様子で成長した姿を丁寧に伝えるよう意識した。
保育を支える組織的基盤	外部研修参加や園内研修、会議や MTG の充実を図り、今後の保育に活かしたいことを具体的に話し合った。特に不適切保育防止のための考え方や取り組み、SIDS 防止対策として呼吸チェックの徹底など保育の資質向上に努めた。 またヒヤリハットをしっかりと書くことにより、事故予防や危険個所の共有に繋がっている。今後も職員間の情報共有とコミュニケーションを大切に、子ども達一人ひとりの成長を大切にしていく。

総評
コロナ対応が緩和され保護者の方にご参加いただける行事が増え、年間を通して充実していたと感じる。会議や MTG の時間確保に苦労しながらも、クラス間の連携をこまめに図り、しっかり情報共有ができていた。次年度の課題としては、研修参加後の研修報告会の更なる充実であり、保育園全体での学びの共有、実践を行い、今後も保育の質の向上に努めていきたい。